

平成25年度 第2回 行政改革推進委員会てん末

1. 日 時

平成25年8月8日(木) 午後1時30分から午後3時20分

2. 会 場

上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

3. 出席者

委 員：石渡会長、北村職務代理者、小関・出口・篠田・小林・後藤・馬場各委員
(欠席：朝日・町元各委員)

町 長：高山・山田・水野・山本・濱本・阿部・加藤各課長、星補佐、大口係長
大西主任

4. 配布資料

- (1) 第2回行政改革推進委員会議案
- (2) 団体補助金の取扱い
- (3) 学校別生徒・児童数一覧及び保育所入所児童数一覧
- (4) 平成25年度 第1回行政改革推進委員会会議顛末書

5. 会議顛末

(1) 開会(高山課長)

(2) 会長あいさつ(石渡会長)

大変暑い中お集まりいただき、ありがとうございます。第1回目の会議の集まりが悪く、議案に入る前に前回の顛末を確認いただき協議をしたいと思います。また、きょうは担当課長にも来て頂いております。それぞれ思ったことを話し合えればよいと思っております。それでは、きょうはよろしく願います。

(3) 協議事項

協議に入る前に、参考資料1の顛末書にて第1回委員会の会議内容を確認

- 1. 行政改革実施計画書の点検評価について
- 2. 行政改革推進委員会の付帯意見に対する町の考え方について

【イベントのあり方について】

加藤課長より説明(以下、説明の概略を記載)

- ・ イベントのあり方について、役場内部では話し合いを進めてきた。内部で意思統一を進めた上で、実行委員会に持ちかけようという段階。
- ・ 役場内部では屯田ふるさと祭りと産業まつりを統合してはどうかという話が出ているが、歴史的な経過や伝統もあり難しいという認識。
- ・ イベントの数は合併により増えているが、従事するのは同じ方が多く、大

変という声が多い。

- ・七夕まつりと屯田ふるさとまつりを統合してもよいのではないかという意見が商工会から出ている。まずはそこから進め、それから産業まつりと統合するという考えもある。
- ・行革推進委員からもいろいろな意見を聞きながら進めたい。
- ・関係団体からの負担金のあり方も変えているところ。話し合いの場は26年度以降と考えている。
- ・補助金カットという考えでの統合の話では理解を得づらい。

【主な意見】

合併当初は整理したほうがよいと思っていましたが、現在は参加機会も増えることで、交流する場も増えると思うようになりました。単純に統合するというより、補助のあり方などを検討するとよいのではないのでしょうか。

統合ありきということではなく、まずは主催している人たち同士で話し合うことが第一だと思います。

農協はH17・H18に合併し、5つの農協を1つにしました。経済団体と町では異なるかもしれませんが、スポーツ大会などは統一しました。合併効果を出すために効率化を検討する本委員会の立場としては、共通するお祭については一本化する方向で協議するべきと思います。

湧別の産業まつり、上湧別のふるさとまつりの送迎バスの運行は、旧町単位から全町へと合併前より拡大している。その分、費用は膨らんでいると思います。何でも平等に考える必要はないと思います。

自分の懐から出すことを考えれば、いかに売り上げを伸ばすかを考えると同時に、いかに無駄な支出を減らすかを考えるのが当たり前だと思います。両者の合意がないと進まないと思いますが、町として方向性をしっかりと持つべきだと思います。

お祭りは宗教的要素が強い部分もあると思います。イベントがイベントで終わってしまっている気もします。また、役場職員が仕事として従事しているというのはお祭りではないと思います。どのような効果を期待してイベントを実施するかが薄れていると思いますし、住民活動として実施していくという町おこしの視点が必要だと思います。

統合は難しいと何年も経過しています。歴史を残す重要性はあると思いますが、まちを活性化するためにも一つに統合して盛大に実施することも考えるとよいと思います。2つあればどちらに行くという選択肢は増えますが、統合して、どちらも楽しめるような工夫をすればよいのではないのでしょうか。

歴史を重んじていたら前に進んでいかないと思います。統合に向けた模索を関係者で試みてはいかがかと思います。そうすれば、一つの会場に収容できるかといった多くの問題も出てくることと思います。

イベントを町民だけのために行うのではなく、外部からも人を呼び込み金を稼ぐという考えも必要と思います。

お祭りは地域で実施し、イベントは町が主催し集客する必要があると思います。町が金を出すからには、産業観光として見返りを求める取り組みが必要だと思います。いつまでも町に金がある訳ではなく、地域に任せていくという考えを持つ必要があると思います。

屯田まつりの綱引きを旧湧別対旧上湧別でやっても面白いと思います。一つのものを新たに作り上げる考え方も必要と思います。

【保育所・学校の統合について】

阿部課長より学校統合について説明（以下、説明の概略を記載）

- ・適正配置計画の素案を内部で検討、作成しているところ。校舎の改修計画やスクールバスのあり方など課題も多く、慎重に時間をかけ、教育委員会議で内容を協議、調整したうえで、町に具申したい。
- ・昨年は地域、小学校としても節目の年でもあり、具体的な検討ができなかったこともある。
- ・児童、生徒が減少傾向にあれば話もしやすいが、現状は横ばい。
- ・子どもたちにとって、整った環境は必要と思う。今後、父兄ら関係者考えを聞く必要がある。
- ・学校が地域を大きく担っているという部分もあり、いろいろな意見を聞きながら子どものことを一番に考える。

濱本課長より保育所統合について説明（以下、説明の概略を記載）

- ・現状では、学校区に一つずつ保育所が配置されている。
- ・合併前には地域から存続の要請を受けた経緯もあり、慎重に進める必要がある。
- ・保育所と学校を一体的に検討することも必要である。
- ・現状、保育所修理の要望は出されていない。議会の一般質問の中では今後の保育所のあり方を検討していくという答弁をしている。

【主な意見】

子どものためにはある程度の規模のほうが望ましいと思います。競える環境にいる子のほうが逞しく育っている気がします。遠距離通学の方策など考えることも多いと思いますが、子どもたちの未来を考えれば地域の方も理解してくれると思います。

湧別地区では開校 85 周年で閉校した経緯があると思います。節目で閉校することも一つの考えだと思います。

小学校は少人数のほうがよいという考えと、集団行動は早い段階からしたほうがよいという考えがあります。地域と学校は別なものであり、子どもたちにとって一番よいことは何かを考えてほしいです。

教育に金のお話をしてはいけないかもしれませんが、どれだけ経費がかかっているかを示すことも必要だと思います。

施設の修繕について、使えるうちはそのまま使うという施設は他にもあり、公平性が失われないようにしてほしいと思います。

地域は抵抗すると思いますが、学校統合の流れは旧湧別町でも他市町村でも進めてきたことと思います。統合ありきで始める必要はないかもしれませんが、議論のテーブルに上げる必要があると思います。

地域だけではなく、湧別町全体にとって大きな問題だと思います。検討ばかりではなく、住民の話を聞きながら進めていく必要があると思います。

定住人口を増やすための施策との兼ね合いもあると思います。

3. 団体補助金の取り扱いについて

コミュニティ協議会について質疑あり。

(特に意見なし)

4. その他

中湧別の鉄道資料館でテープを流したり、汽笛を鳴らしたりしていますが、教育委員会の学芸員などと連携を図り、保管や保護を進めてほしいと思います。最近はかなりマニアックな観光客が多く訪れており、歴史的背景を含めアピールすることで観光的価値は大きくなるものと考えます。

(4). 閉会

町長への点検評価の提出は、事務局で整理のうえ委員長・副委員長一任で案を作成し、書面で各委員に意見を伺った後、行うこととした。

午後 3 時 20 分 閉会

以上